



指定ごみ袋導入の効果

▼ごみ・分別収集量の変化

平成十四年度に指定ごみ袋を導入し、市民の皆さんのご協力と努力の結果、平成十四年度の燃やせるごみの排出量は平成十三年度と比較すると約30%、燃やせないごみの量は約50%も減少しました。逆に、分別収集は約30%増加し、貴重な資源としてリサイクルに回されました。

▼里庄清掃工場への負担金

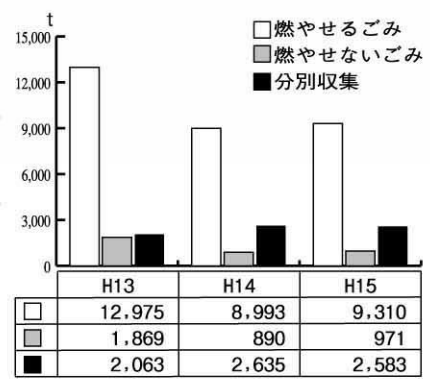
皆さんもご存知のとおり、各家庭から出された燃やせるごみは、収集して里庄清掃工場に運ばれ、焼却処分されています。この里庄清掃工場は、

笠岡市・里庄町・鴨方町・寄島町の一市三町で構成された岡山県西部環境整備施設組合（里庄清掃工場）によって運営され、その運営費は一市三町から支払われる分担金によって賄われています。

この分担金は、各市町から排出されるごみの前年度焼却量によって変動します。つまり、たくさん燃やせるごみを搬入すると分担金は増加することになります。

笠岡市では、平成十四年度に燃やせるごみの減量化が進んだことにより、平成十五年度の分担金のうち施設使用料が約一千五百万円も節約できました。

▼二年が経過して



しかし、右のグラフから見て取れるように、平成十五年度は平成十四年度に比べ、燃やせるごみの量と燃やせないごみの量がわずかに増加しています。

また、平成十四年度では増えた分別収集量が、平成十五年では若干減少しています。これは、分別をして資源として再利用されるべきものが、燃やせるごみとして里庄清掃工場に持ち込まれているのではないかと考えられます。そして、燃やせないごみについても同じことが考えられます。

もう一度我が家のごみ袋の中を見つめ直してください。資源として使えるものが袋の中に入っていることはありません。

せんか。限りある資源です。リサイクルできるものはリサイクルに回し、ごみの減量化・資源化に努めましょう。

燃やせるごみを減らすポイント

燃やせるごみを減らすテクニックのひとつとして生ごみの水切り、さらには生ごみ処理容器を利用するの堆肥化があります。

生ごみの半分近くが水分であるため、水をしっかり切る

ことによって、燃やせるごみの減量化もでき、いやなおいを抑えることもできます。そして、その結果分担金の節約にもつながるのです。

生ごみ処理容器については、購入時に補助金の制度がありますので活用ください。詳しくは環境課までお問い合わせください。

問合せは環境課 ☎3805まで

平成16年度 生ごみ処理容器販売登録店 一覧表 (7月26日現在)

会社名	所在地	コンポスト	ボカシ	電気式
ベスト電器笠岡店	富岡114-4			○
(株)ユーホー笠岡店	富岡146	○	○	○
(株)藤田農機商会	二番町2-5	○		○
藤本配線設備有限会社	三番町3-22			○
三宅電器商会	三番町7-21			○
株式会社中電工笠岡営業所	四番町2-3			○
コーストヨー住器株式会社	七番町1-75			○
デオデオ笠岡店	笠岡106-13			○
住まいるネット笠岡住吉店	笠岡2418			○
蔵本電気商会	中央町16-7			○
住まいるネット笠岡インター店	笠岡4110-9			○
ホリデイ株式会社	笠岡5611	○	○	○
倉敷かさや農業協同組合	笠岡5920	○		○
リッチライフしんこう	美の浜30-24			○
フジ電器サービス	生江浜1148-1			○
アリオカ電器	大島中6137			○
イトウストレリチア・ガルデン	カブト南町113		○	

購入時の条件

種類	補助対象基数	補助限度額
コンポスト・ボカシ容器	1世帯各2基まで	1基につき販売金額の1/2を補助 3,000円が上限
電気乾燥式などの容器	1世帯1基のみ	販売金額の1/2を補助 10,000円が上限

※購入時には、「免許証」や「保険証」など市民と認識できるものと「印かん」をご持参ください。
※今年度より、平成3～5年度に購入したコンポスト容器で破損している物の買い替えを対象に、2基までが補助対象となっています。